

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 DRY-S7	
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	お買い上げの日から1年
お客様 お名前 ご住所 TEL ()	様
販売店 店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居と贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

- (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

YUPITERU

DRIVE RECORDER

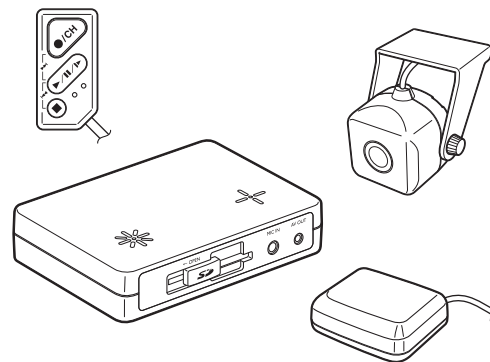


取扱説明書

12V、24V車対応

このたびは、弊社製品のドライブレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、連続した録画記録や、万一の事故発生時に映像を20秒間記録します。



目次

はじめに

安全上のご注意	2
使用上のご注意	3
機能	4
各部の名称と働き	5
本機を使用する	7
GPS測位機能について	9

映像を記録する

映像を記録する	10
---------	----

専用ビューアソフトの使いかた

準備する	12
ビューアソフトをインストールする	12
準備する	15
記録された映像を見る	17
連続記録したファイルを見る	21
静止画記録を見る	24
記録した映像をパソコンに保存する	25
記録した映像を印刷する	28
履歴を見る	30
Google Earth用のデータに変換する	34
設定を変更する	36
カメラ設定	37
記録設定	37
連続記録時間とイベント記録件数表	39
加速度センサー設定	40
車速パルス設定	40
SDカード初期化	41
録画データ削除	43
インフォメーション	45
ビューアソフトのバックアップ(コピー)について	46
SDカードフォーマットについて	47

その他

映像を見る(オプションAV出力ケーブル OP-23を使用)	48
設定内容を見る(オプションAV出力ケーブル OP-23を使用)	49
加速度センサーの設定(初期化)	50
故障かな?と思ったら	52
付属品	53
仕様	54
アフターサービスについて	55
保証書	裏表紙

株式会社 ヌピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS1257-B

視野角
左右上下
131°
96°
30万画素
最低照度
1LUX.

- セパレートタイプだから、好きな場所に自在に取り付け可能
- 音と映像を連続記録
- カメラは最大3台まで設置可能
- 連続記録かイベント記録かを選択可能
- 電源喪失時も安心、バックアップ機能
- パソコンで確認できる専用ビューアソフト付属

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

- ⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- 🚫 この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
- ❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。
- ➡ この記号は、関連するページを示します。

●本機、電源コードについて

⚠警告

- 🚫 水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。
- 🚫 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。
- 🚫 機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。
- 🚫 サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
- 🚫 煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。
- 🚫 指定された電源電圧車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。本機はマイナスアース車専用です。
- 🚫 ペンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用して拭かない…本体を傷めます。
- ❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

●使用について

⚠注意

- 🚫 動作確認のための公道での危険な運転は、行わないでください。
- 🚫 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- ❗ 運転中に録画ランプを注視しない…前方不注意による事故の原因になります。
- ❗ 運転者は走行中に操作しない…走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。また、手動録画をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

使用上のご注意

- 本機を取り付けての違反に関しましては、弊社では一切の責任を負いかねます。日ごろからの安全運転をお心がけてください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

録画についての注意

- 本機は連続記録や衝撃(加速度)を検知して事故発生前後の映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。
- 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。
- 夜間や車内など暗い場所では、鮮明な映像とならないことがあります。
- 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- 運転者は走行中に録画ランプ等を注視しないでください。ワンタッチ操作でのイベント記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- 本機の設定(感度設定など)や記録した映像を見るためには、下記スペックを満たすパソコンおよびSDカード対応リーダーが必要で、必要な機器は、別途ご準備ください。
 - ・ 解像度1024×768ピクセル以上の表示ができるMicrosoft Windows搭載のパソコン。
 - ・ 2GB対応のSDカードリーダー。
- 2GBのSDカードに対応したカードスロットを備えたパソコンの場合は、SDカードリーダーは必要ありません。

SDカードについての注意

- SDカードには、本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像が記録できないことがあります。
- 付属のSDカードを取り出すときは、本機の電源が切れている(録画ランプが消灯している)ことを確認してから、SDカードを取り出すだけでなく、本機が故障する恐れがあります。
- 付属のSDカードは指定した方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、付属のSDカードや本機の故障の原因となります。
- SDカードは付属のもの(SDカード規格/2GB)をご使用ください。付属のSDカード以外では、正常に動作しない場合があります。

取り付けについての注意

- 本機は取付説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- 取り付け後、衝撃センサーの設定操作では、車両を走行させるため、必ず、周囲の安全を確認してから操作を行ってください。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。
- 本機は日本仕様です。海外ではご使用にならないでください。

GPS測位についての注意

- 電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの耐熱ガラスなど)の場合、電波が受信しにくくなり、GPSが測位できない場合があります。
- 走行速度や距離などの表示は、GPSの電波のみが完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- 走行速度や距離などの表示は、GPSの電波で計測しています。GPS測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

走行中の映像や、急ハンドル、急ブレーキなど危険な運転、事故の瞬間などを記録することができます。

本機では、連続記録、イベント記録、静止画記録が行えます。

連続記録

- 連続した録画映像をSDカードに記録できます。
走行中の映像を常に記録できます。

イベント記録

- 事故発生時など本機内蔵のセンサーが衝撃を検知した場合や、リモコンでの録画操作を行うと、20秒間の映像と音声をSDカードに記録します。

静止画記録

- リモコンで静止画記録の操作をするごとに静止画像1枚と5秒間の音声を記録します。

●オプション

別売のオプションを追加することでより詳しい状況を記録できます。

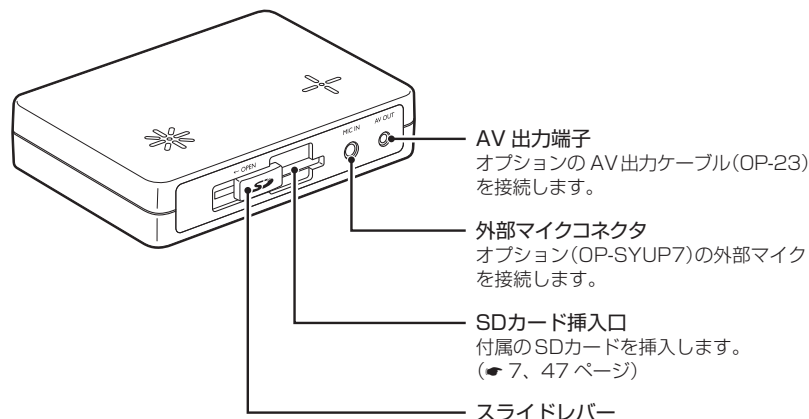
- ・増設カメラ OP-DRCM1
カメラを1台増設でき、室内などの映像も同時に記録できます。
- ・リアビューカメラ YP-BC1
車両後方に取り付け、駐車時の映像を記録できます。
ギアをバック(R)に入れることで録画を開始します。
- ・AV出力ケーブル OP-23
AV出力端子と接続し、記録した映像をカーナビやカーテレビなどのモニターで再生することができます。
※RCA外部入力端子を備えた機器に接続できます。
- ・システムアップセット OP-SYUP7
車速やブレーキ、左右ウインカーの信号を記録するための配線と外部マイクがセットになっています。

※オプションのカメラを追加し、多チャンネルで記録した画像を再生する際、パソコンの能力によっては、動作のモタつきや音飛びが発生することがあります。できるだけ、処理能力の高いパソコンをご使用ください。

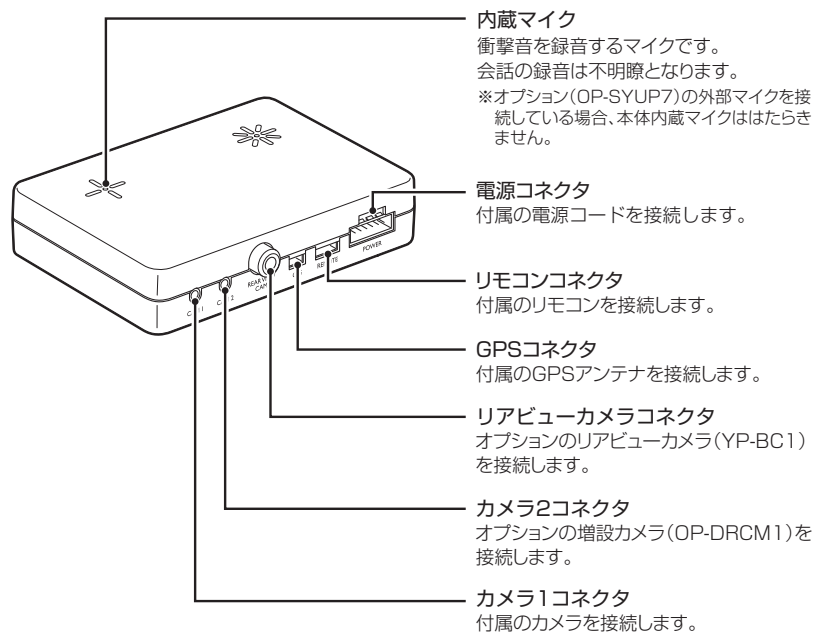
<推奨>

- ・CPU：インテル Core 2 Duo E6400 2.13GHz 以上、または、同等以上のプロセッサー
- ・メモリー：1GB 以上

本体正面

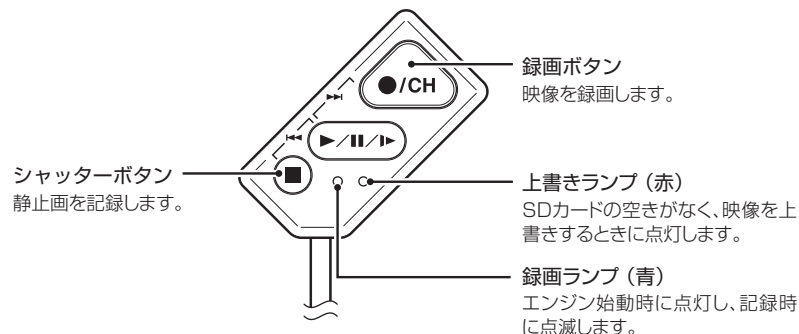


本体背面

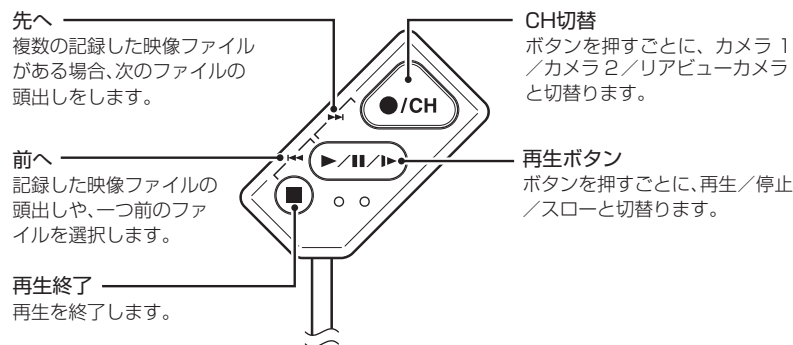


リモコン

◆リモコンで映像や静止画を記録する場合



◆カーナビなどの外部モニターで再生する場合 (「映像を見る」▶ 48 ページ)



※ オプションAV出力ケーブル(OP-23)でRCA外部入力端子を備えた機器と接続をしている場合、本機で記録した映像が見ることができます。

電源が切れている(エンジン停止)状態で、SDカードが装着されているか確認する

工場出荷時、SDカードは本体に装着されています。

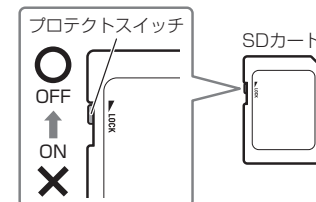
きちんと装着されているかご確認いただき、きちんと挿し込まれていない場合は、下記方法でSDカードを装着してください。

<注意>

- SDカードのプロテクトスイッチをOFFにして使用してください。

SDプロテクトスイッチについて

SDカードには、プロテクト(書き込み禁止)機能が付いています。
使用時には、プロテクトスイッチをOFFにしてください。



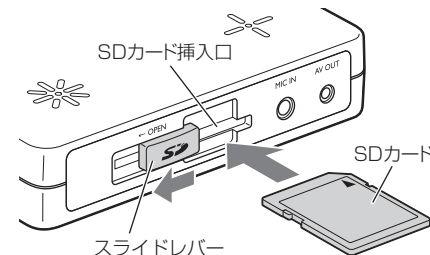
- SDカードが挿入されていない状態で電源が入る(エンジンを始動すると、本体より「ピーピー…」音が鳴ります。
音が鳴る場合、いったん電源を切り(エンジンを停止させ)、リモコンの上書きランプ、録画ランプが消灯している状態でSDカードを挿入してください。

SDカードの入れかた

必ず、電源が切れ(エンジン停止)、リモコンの上書きランプ、録画ランプが消灯している状態で操作してください。

- SDカード挿入口のスライドレバーをOPENの方向(←)にスライドさせる
- SDカードの向きに注意し、「カチッ」と音がするまで押し込む
- スライドレバーを矢印と逆の方向にスライドさせる

※ スライドレバーは必ずロックするまでスライドさせてください。
衝撃時などにSDカードが飛び出すと、記録できません。

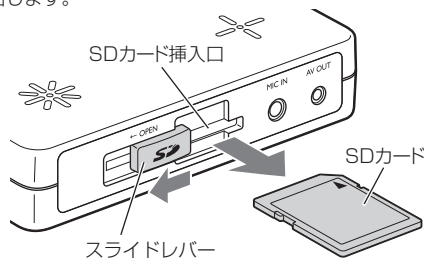


SDカードの取り出し方

必ず、電源が切れ(エンジンを停止)、リモコンの上書きランプ、録画ランプが消灯している状態で操作してください。

- ① SDカード挿入口のスライドレバーをOPENの方向(←)にスライドさせる
- ② SDカードの後ろを手で軽く押し込み、手を離す

SDカードが少し飛び出しますので手で取り出します。



●エンジンを始動すると…

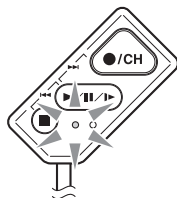
エンジン始動(ACC ON)後、リモコンの録画ランプと上書きランプが点灯し、その後、点滅に変わります。
本機で映像を記録できる状態になると上書きランプが消灯し、録画ランプだけが点灯します。
※ 地下駐車場などGPSを測位できない場合、録画ランプが点滅します。GPS測位ができると録画ランプは点滅から点灯に変化します。

購入後、初めて使用する場合

障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で10～20分程度通電状態にし、GPSの電波を受信(測位)させてください。

●GPSを測位すると…

リモコンの録画ランプが青点滅から青点灯に変化します。



測位後に電源を切る(エンジンを停止させる)ことで、GPS情報による日時の修正が行われます。

再度、電源を入れ(エンジンを始動させ)、リモコンの録画ボタンを押し映像を録画し、ビューアソフトがインストールされているパソコンで確認をしてください。

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の24個の人工衛星から発信される電波により、現在地の緯度・経度を測定するシステムです。

車のエンジンを始動します。

本機の電源が入ると、GPS測位機能が働きます。

通常、GPS測位が完了するまで、約10秒から約3分かかりますが、購入直後や、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

●TVによるGPS測位障害について

車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。
UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。

バックアップ機能について

重大事故などで、衝撃を検知後に電源が断たれた場合、バックアップ機能によりコマ数を落として映像を記録します。

※ 電源投入後2分間は、バックアップ機能は働きません。

映像を記録する

連続記録

エンジン始動(ACC ON)からエンジン停止(ACC OFF)までの映像と音をSDカードに記録します。

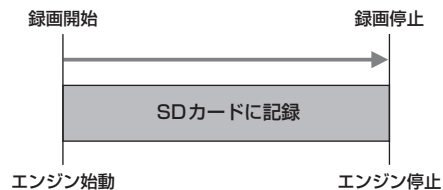
記録できる時間は、使用するカメラの数や設定内容などによって異なります。

(☛ 36～39ページ)

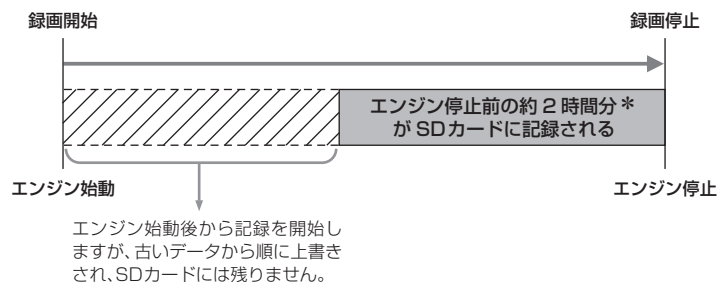
工場出荷時の設定内容で使用情况の場合の記録例

工場出荷時の設定(高画質、10コマ/秒)で、付属のSDカードに約2時間の連続記録が可能です。

◆エンジン始動から停止までが2時間以内の場合



◆エンジン始動から停止まで2時間を越える場合



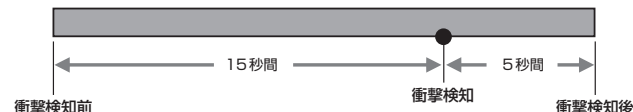
* SDカードに記録できる時間は、使用するカメラの数や設定内容などによって異なります。
(☛ 39ページ「連続記録時間とイベント記録件数表」)

イベント記録

内蔵のセンサーが衝撃を検知した場合や、リモコンで録画操作を行うと、20秒間の映像と音をSDカードに記録します。

衝撃を検知しての自動録画(20秒)

加速度センサーが一定以上の衝撃を検知すると、衝撃の前後20秒間をSDカードに記録します。



1 車のエンジンを始動する

- 本体から『ピーピー…』と鳴る場合はSDカードの挿入を確認してください。

2 加速度センサーが一定以上の衝撃を検知すると自動で記録が行われる

録画ランプが点灯から点滅に変化し、『ピー』音が鳴り、記録が行われます。

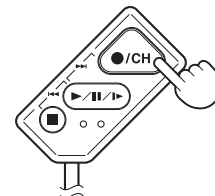
録画が終了すると録画ランプが点滅から点灯に戻ります。

ワンタッチ操作による手動録画(20秒)

リモコンのボタン操作で映像の記録が行えます。

リモコンの録画ボタン を押す

録画ランプが点灯から点滅に変化し、『ピー』音が鳴り、記録が行われます。



静止画記録 (最大10件)

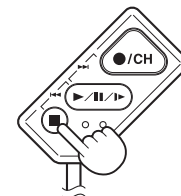
リモコンのボタン操作で静止画像1枚と音声のみ5秒間記録できます。

リモコンのシャッターボタン を押す

録画ランプが点灯から点滅に変化し、『ピー』音が鳴り、記録が行われます。

※10件以上撮影した場合は、上書きされ古いデータから順に書き換わります。

※静止画としての記録はカメラ1(付属カメラ)で行います。



本機で記録した映像は、ビューアソフトを使い、パソコンで見ることができます。

・誤って専用ビューアソフトを削除した場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

準備する

解像度1024×768ピクセル以上の表示ができる
Microsoft Windows XPまたはVistaを搭載したパソコン。
2GB対応のSDカードリーダーライター。

対象 OS

- ・ Windows XP
- ・ Windows Vista

※64bit版は除きます。

※2GBに対応していない場合、SDカードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

※2GBのSDカードに対応したカードスロットを備えたパソコンの場合は、SDカードリーダーライターを接続する必要はありません。

※専用のビューアソフトで地図を表示させる場合、インターネットに接続可能なパソコンが必要です。

※オプションのカメラを追加し、多チャンネルで記録した画像を再生する際、パソコンの能力によっては、動作のモタつきや音飛びが発生することがあります。できるだけ、処理能力の高いパソコンをご使用ください。

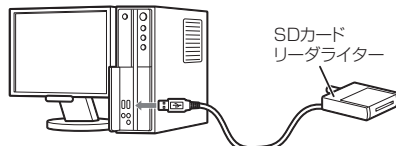
<推奨>

- ・ CPU：インテル Core 2 Duo E6400 2.13GHz 以上、または、同等以上のプロセッサー
- ・ メモリー：1GB 以上

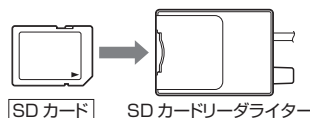
ビューアソフトをインストールする

1 SDカードリーダーライターをパソコンに接続する

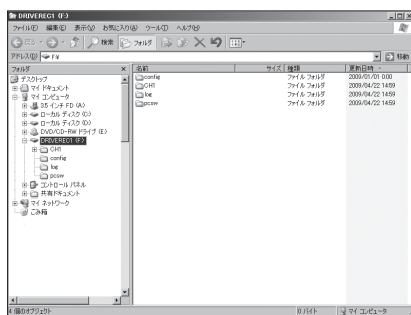
- ・ SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、SDカードリーダーライターを接続する必要はありません。



2 付属のSDメモリーカードをSDカードリーダーライターに接続する

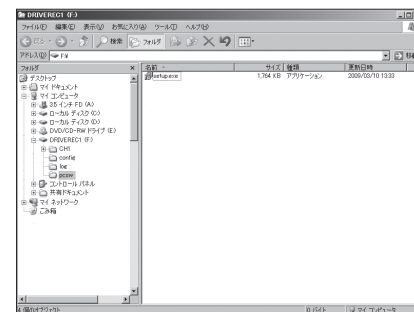


3 エクスプローラなどを起動させ、「DRIVEREC3」と表示されているドライブを展開し、[pcsw]をダブルクリックする



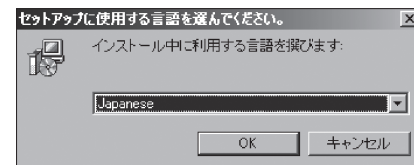
4 [setup.exe]をダブルクリックする

※パソコンが「拡張子を表示しない」に設定されている場合、setupと表示されます。



5 セットアップに使用する言語を選択する

言語を選択して[OK]をクリックします。Japaneseを選択すると日本語、Englishを選択すると英語表示画面になります。
以降はJapaneseを選択した手順です。



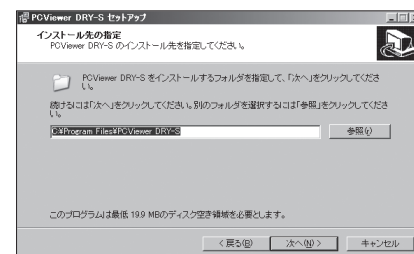
6 セットアップウィザードの開始

[次へ]をクリックすると、インストールを開始します。



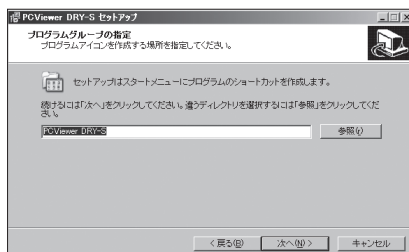
7 インストール先の指定

インストール先のフォルダ画面が表示されますので、インストール先を指定し、[次へ]をクリックします。



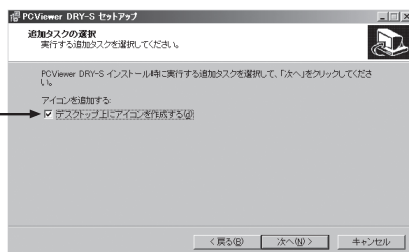
8 プログラムグループの指定

プログラムグループが表示がされますので、[次へ]をクリックします。



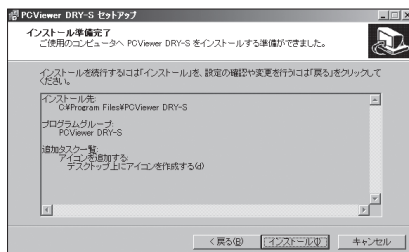
9 追加タスクの選択

デスクトップ画面上にショートカットアイコンを作成します。確認して「次へ」をクリックします。→ デスクトップ画面上のアイコンをクリックするだけで、いつでもビューアソフトを起動できます。



10 インストール準備完了

[インストール]をクリックします。



11 セットアップの完了

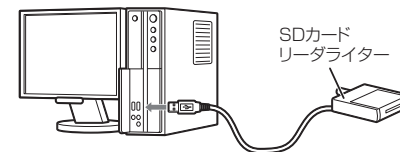
セットアップが終了すれば、[完了]をクリックします。



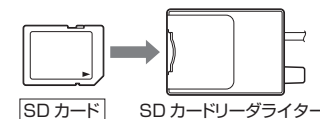
準備する

1 SDカードリーダーを専用ビューアソフトがインストールされているパソコンに接続する

- ・2GBのSDカードに対応したカードスロットを備えたパソコンの場合は、SDカードリーダーを接続する必要はありません。



2 付属のSDカードをSDカードリーダーに挿入する



3 デスクトップにある[PCViewer DRY-S]アイコンをクリックする

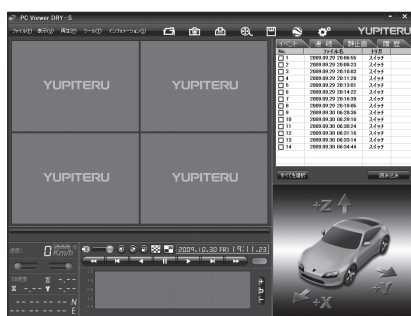


ビューアソフトが起動します。



4 (フォルダ)をクリックし、「DRIVEREC3」と表示されているドライブを指定し、[OK]をクリックする

- ・[ファイル]をクリックし[データフォルダを指定]から、[DRIVEREC3]を選択しても同じ画面表示になります。



ファイル名について

ワンタッチ録画や衝撃を検知した日付、時間がファイル名となります。

2009.02.06 19:21:12 衝撃
年 月 日 時 分 秒 トリガ (映像を記録するきっかけ)

●トリガ

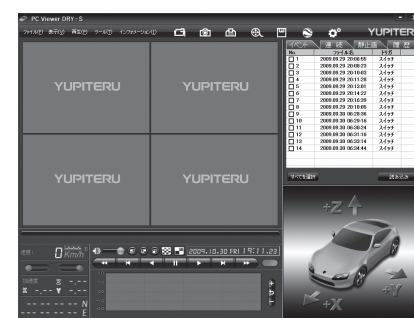
衝撃を検知して記録した場合は「衝撃」、録画ボタンを押して記録した場合は「スイッチ」と表示されます。

※ イベント記録で記録した場合のみ、ファイル名の後ろにトリガ(衝撃またはスイッチ)が表記されます。

イベント記録された映像を見る

1 見たいファイル名をクリックする

- ・選択したファイルNo.に☒が入ります。
- ・複数のファイルを選択できます。
- ・「すべてを選択」をクリックすると、録画されているファイルすべてに☒が表示されます。



2 [読み込み]をクリックする

- ・選択した映像が読み込まれ、表示されます。
- ・複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
- ・一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかかる場合があります。
- ・[ファイル]をクリックし[読み込み]から[イベント]をクリックしても同じ画面表示になります。



No	表示名	表示の意味
①	メニューバー	各種メニューバー - フォルダを指定します。 - 静止画に変換します。 - 印刷をします。 - 動画に変換します。 - データのバックアップをします。 - ログデータに変換します。 - 記録設定の変更をします。
②	表示エリア	選択したファイルの映像を表示します。 カメラ1、カメラ2、後方の映像を表示します。
③	表示切替ボタン	シングルチャンネル16分割画面、マルチチャンネル画面に切り替えます。
④	音量表示	ミュート、音量を調整します。
⑤	走行速度表示	GPSまたは車速信号線からの走行速度を表示します。 ※ オプション OP-SYUP7を使用した場合は、車速信号線からの情報も検出できます。
⑥	ブレーキ、ウinker表示	ウinker(右左)とブレーキの状態を表示します。 ※ オプション OP-SYUP7を使用した場合に表示します。
⑦	加速度表示	前後感度(X方向：赤色)、左右感度(Y方向：黄緑色)、上下感度(Z方向：青色)を表示します。
⑧	緯度・経度表示	GPSで記録した緯度(N)・経度(E)を表示します。
⑨	再生ボタン	再生や早送りなどの操作を行います。
⑩	加速度センサーグラフ表示	加速度センサーグラフを表示します。
⑪	カーソル	加速度センサーグラフ内での再生位置を表示します。
⑫	日付 時刻	映像を記録した日付と時間を表示します。
⑬	Google Maps表示	読み込まれた映像はGoogle Mapsに連動して自車位置が移動します。インターネットに接続されていないと、Google Mapsは表示されません。
⑭	プレイリスト一覧	選択されているファイルを表示します。

3 再生する

ボタンをクリックすると、記録するきっかけとなった時点から再生を行います。

●映像の再生や早戻しなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。



- ・[再生]をクリックし、[再生]、[早送り]、[次コマ]、[逆再生]、[前コマ]、[早戻し]、[停止]をクリックすると、クリックした動作を行います。
- ・再生中に早送り(早戻し)ボタンをクリックするごとにX2→X4→X8→X16と、早送り(早戻し)再生になります。
- ・記録するきっかけとなる前の映像(約15秒)を確認する場合は、[逆再生]や[早戻し]のボタンをクリックしてください。

●カーソル上で右クリックをすると、カーソルが先頭(衝撃検知の15秒前)に移動します。

● ボタンをクリックするとシングルチャンネル16分割画面、 ボタンをクリックするとマルチチャンネル画面に切り替えることができます。

● ボタンをクリックすると、選択した画面のみ表示します。

画面左上(カメラ1)、右上(カメラ2)、左下(後方)が表示されます。

- ・[表示]をクリックして[画面表示]から[シングルチャンネル][シングルチャンネル16分割][マルチチャンネル]をクリックしても、同様に画面表示を切り替えることができます。
- ・[シングルチャンネル]をクリックすると[カメラ1]、[カメラ2]、[後方]の切り替えができます。



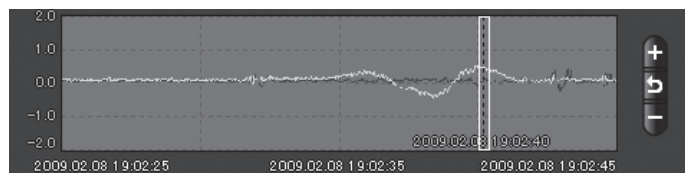
カメラ1、カメラ2、後方より選択した1画面を16分割して表示します。

加速度センサーグラフは、記録したデータを加速度(縦軸)と時間(横軸)でグラフ表示します。

●加速度センサー表示は **+** ボタンをクリックすると加速度センサースケールが拡大、**-** ボタンをクリックすると加速度センサースケールが縮小します。

5 ボタンをクリックすると標準のスケールになります。

・[表示]→[加速度センサースケール]から[拡大][標準][縮小1][縮小2]を選択、操作をしても同様の動作となります。



[閉じる]をクリックすると、**1** の画面に戻ります。

終了する場合は、**X** をクリックします。

連続記録したファイルを見る

1 [連続]をクリックする

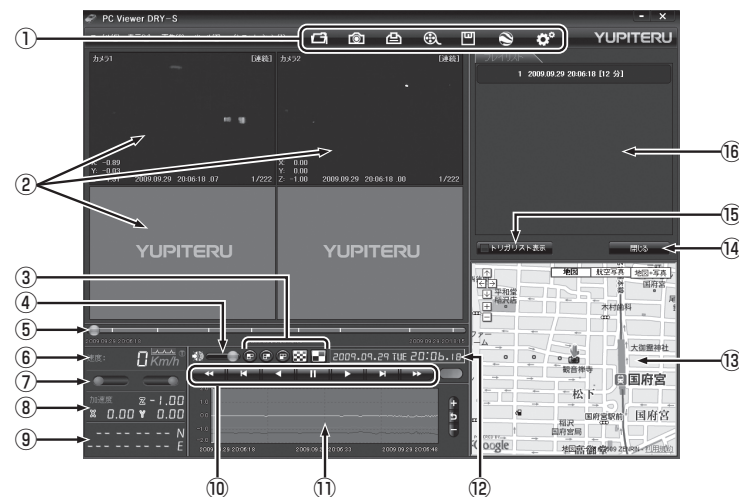
2 ファイル名一覧より、見たい映像ファイル名をクリックする

- ・選択したファイルNo.に ☒ が入ります。
- ・複数のファイルを選択できます。
- ・「すべてを選択」をクリックすると、録画されているファイルすべてに ☒ が表示されます。



3 [読み込み]をクリックする

- ・選択した映像が読み込まれます。
- ・複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
- ・一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかかる場合があります。
- ・[ファイル]をクリックし[読み込み]から[連続]をクリックしても同じ画面表示になります。



No	表示名	表示の意味
①	メニューバー	各種メニューバー
		 フォルダを指定します。
		 静止画に変換します。
		 印刷をします。
		 動画に変換します。
		 データのバックアップをします。
		 ログデータに変換します。
		 記録設定の変更をします。
②	表示エリア	選択したファイルの映像を表示します。 カメラ1、カメラ2、後方の映像を表示します。
③	表示切替ボタン	シングルチャンネル16分割画面、マルチチャンネル画面に切り替えます。
④	音量表示	ミュート、音量を調整します。
⑤	トラックバー	ファイル内の再生場所をつまみで表示します。 つまみをスライドさせるとその位置の映像が選択できます。
⑥	走行速度表示	GPSまたは車速信号線からの走行速度を表示します。 ※ オプション OP-SYUP7を使用した場合は、車速信号線からの情報も検出できます。
⑦	ブレーキ、ウインカー表示	ウインカー(右左)とブレーキの状態を表示します。 ※ オプション OP-SYUP7を使用した場合に表示します。
⑧	加速度表示	前後感度(X方向：赤色)、左右感度(Y方向：黄緑色)、上下感度(Z方向：青色)を表示します。
⑨	緯度・経度表示	GPSで記録した緯度(N)・経度(E)を表示します。
⑩	再生ボタン	再生や早送りなどの操作を行います。
⑪	加速度センサーグラフ表示	加速度センサーグラフを表示します。
⑫	日付 時刻	映像を記録した日付と時間を表示します。
⑬	Google Maps表示	読み込まれた映像はGoogle Mapsに連動して自車位置が移動します。インターネットに接続されていないと、Google Mapsは表示されません。
⑭	読み込み/閉じるボタン	選択したファイルを読み込み/閉じます。
⑮	トリガリスト表示	連続記録中に衝撃を検知して記録した映像や、録画ボタンを押して記録した映像ファイルの一覧が表示されます。
⑯	プレイリスト一覧	選択されているファイルを表示します。

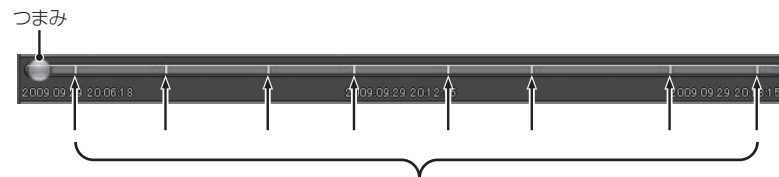
トリガリスト表示について

トリガリスト表示をクリックすると、連続記録中にリモコンの録画ボタン操作や衝撃を検知したときの映像ファイルを一覧表示します。
トリガリストに表示されたファイルは、トラックバーに黄線で表示されます。



4 再生する

 ボタンをクリックすると、つまみの場所から再生をします。
(つまみをスライドさせ  ボタンをクリックすると、その場所から再生できます)



連続記録中に、トリガ(衝撃検知やリモコンボタン操作)での記録があった場所を表示します。

●映像の再生や早戻しなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。



- ・[再生]をクリックし、[再生]、[早送り]、[次コマ]、[逆再生]、[前コマ]、[早戻し]、[停止]をクリックすると、クリックした動作を行います。
- ・再生中に早送り(早戻し)ボタンをクリックするごとにX2→X4→X8→X16と、早送り(早戻し)再生になります。

静止画記録を見る

1 「静止画」をクリックする

2 見たいファイル名をクリックする

- 選択したファイルNo.に☒が入ります。
- 複数のファイルを選択できます。
- 「すべてを選択」をクリックすると、録画されているファイルすべてに☒が表示されます。



3 「読み込み」をクリックする

- 選択した映像が読み込まれ、静止画の表示と音声が再生されます。
- 複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像と音声が表示、再生されます。
- 一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかかる場合があります。
- 「ファイル」をクリックし「読み込み」から「静止画」をクリックしても同じ画面表示になります。



記録した映像をパソコンに保存する

付属のSDカード(2GB)に保存できる映像は、イベント記録のみで使用した場合、約800件(カメラ1台、1コマ/秒の場合)、連続記録のみで使用した場合、約2時間(カメラ1台、高画質、10コマ/秒の場合)となります。

SDカード内の映像は必要に応じて、パソコンなどにバックアップしてください。

バックアップ

SDカードに録画されているファイルをパソコンなどにバックアップできます。

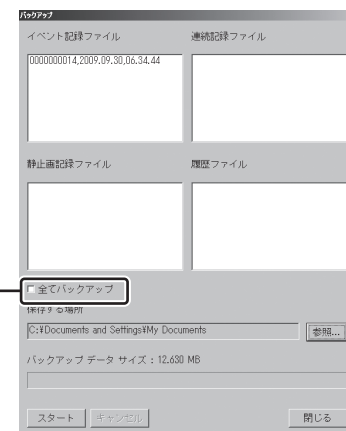
- バックアップしても録画した映像は削除されません。映像を削除するときは、録画データの削除(43ページ)を行ってください。

1 ファイル名の一覧より、保存したい映像ファイル名をクリックし、☒を入れ、「読み込み」をクリックする

2 (バックアップ)をクリックする

- 「[ツール]をクリックし[バックアップ]をクリックしても同じ画面表示になります。

読み込まれたファイルが表示されます。



- ☐ 全てバックアップ
- ☒ を入れるとSDカードに録画されているすべての映像がバックアップの対象となります。

3 保存先を指定し、「スタート」をクリックする

バックアップ用に作成したフォルダを指定します。

4 保存が完了すると、「バックアップ完了」と表示される

[OK]をクリックするとバックアップの画面に戻ります。

バックアップ用に作成したフォルダ内に[audio]、[ch1]、[ch2]、[ch3]、[log]、[memo]の6つのフォルダが作成されます。

5 終了するときは「閉じる」をクリックする

バックアップしたファイルはデータフォルダの参照よりバックアップを選択すると確認できます。



動画変換

録画されたファイルを AVI形式の動画に変換して保存できます。

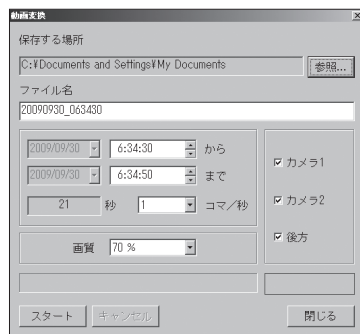
1 ファイル名の一覧より、動画変換したい映像ファイル名をクリックし、☒ を入れ、[読み込み]をクリックする

2 (動画変換)をクリックする

- ・ [ツール]をクリックし[動画変換]をクリックしても同じ画面表示になります。

3 お好みのファイル名や保存先、コマ数を指定し、[スタート]をクリックする

- ・ **画質**
動画変換時の画質を選択できます。
[10%]～[100%]
10%単位で選択できます。
100%に近づくほど高画質な映像になり、
保存するファイル容量が大きくなります。



4 保存が完了すると、「動画変換しました」と表示される

[OK]をクリックすると動画変換の画面に戻ります。
指定した保存先に*.aviファイルが保存されます。



5 終了するときは[閉じる]をクリックする

動画変換した映像を見る

動画変換して保存したファイルは Media Player Ver9.0 以上で再生できます。



静止画変換

表示エリアに表示されている映像を JPEG形式の静止画に変換して保存できます。
保存先を指定し、「表示中の画像」または「範囲を指定」を選択します。

1 ファイル名の一覧より、静止画変換したい映像ファイル名をクリックし、☒ を入れ、[読み込み]をクリックする

2 (静止画変換)をクリックする

- ・ [ツール]をクリックし[静止画変換]をクリックしても同じ画面表示になります。

3 [表示中の画像]または[範囲を指定]を選択し、お好みの保存先を指定し、[OK]をクリックする

●表示中の画像

シングル画面表示で静止画変換を行った場合は1枚、16分割画面表示から静止画変換を行った場合は、表示されている16画面の映像すべてを静止画に変換できます。

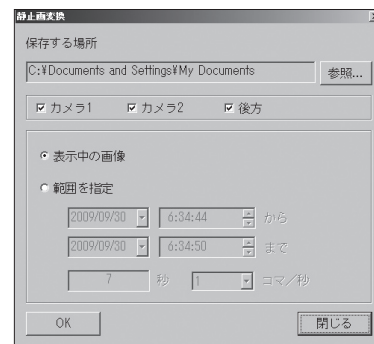
●範囲を指定

- ・ 表示エリアの映像日時が表示されます。
指定した日時の映像が静止画として作成できます。

<コマ/秒>

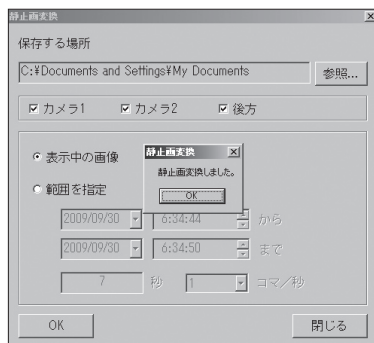
事故直後の詳しい画像や動きの速い映像をコマ送りのように確認したい場合は [コマ/秒] を大きくしてください。

- ・ 保存される静止画はコマ数×秒数×カメラの数になります。



4 保存が完了すると、「静止画変換しました」と表示される

[OK]をクリックすると静止画変換の画面に戻ります。



5 終了するときは[閉じる]をクリックする

静止画変換した映像を見る

静止画変換し、JPEG形式で保存した画像はWindowsの標準ソフトで見ることができます。

記録した映像を印刷する

表示されている映像を印刷することができます。

1 ファイル名の一覧より、印刷したい映像ファイル名をクリックし、☒を入れ、[読み込み]をクリックする

2 (印刷)をクリックする

・[ファイル]をクリックし、[印刷]をクリックしても同じ画面表示になります。

3 [表示中の画像]または[範囲を指定]を選択する

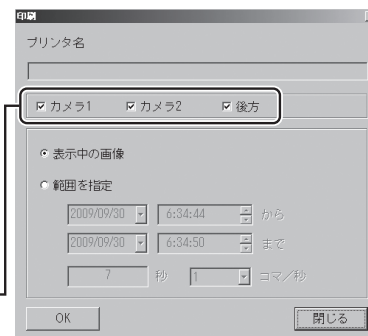
●表示中の画像

表示エリアの映像を印刷します。
16分割画面で表示されているときは、表示されている16枚の印刷を行います。

●範囲を指定

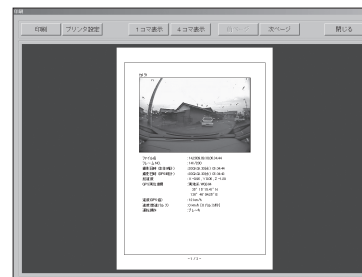
日時とコマ数を選択します。

☐ に ☒ を入れた映像が印刷の対象となります。

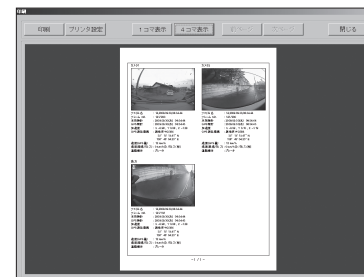


4 [OK]をクリックする

印刷画面が表示されます。



1 コマ表示例



4 コマ表示例

●印刷

画面左上の[印刷]をクリックすると、印刷が行えます。

●プリンタ設定

印刷するプリンタの設定を行います。

●1コマ表示

1枚に1コマの映像データを表示します。

●4コマ表示

1枚に4コマの映像データを表示します。

●前ページ

一つ前のページに戻ります。

●次ページ

1コマ表示で、カメラ2や後方の映像がある場合、次のページを表示します。

5 終了するときは[閉じる]をクリックする

履歴を見る

走行ルートや映像を記録したポイントを確認することができます。

本体の電源が入っている間、GPS測位によって約1秒ごとに自車位置を記憶し、合計で約24時間分までの履歴(日時・位置・速度・加速度)をログデータとしてSDカードに保存します。

※GPS測位できない場合は、自車位置を記録できません。

※合計時間が約24時間を超えた場合は、古いデータから順に上書きされます。

※履歴(ログデータ)を作らないようにすることはできません。

1 [履歴]をクリックする

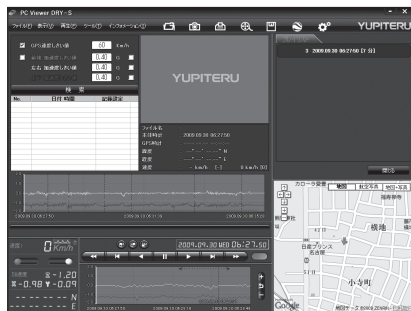
2 ファイル名の一覧より、見たい履歴のファイル名をクリックする

- 選択したファイルNo.に☒が入ります。
- 複数のファイルを選択できます。
- 「すべてを選択」をクリックすると、録画されているファイルすべてに☒が表示されます。

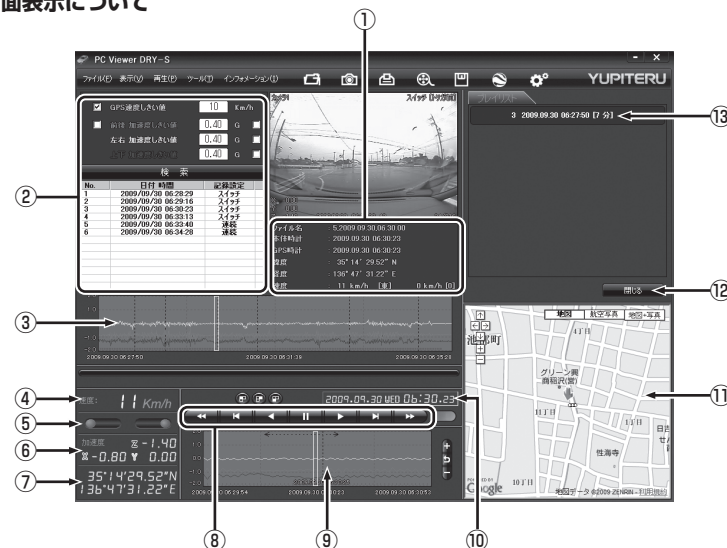


3 [読み込み]をクリックする

- 選択した履歴が読み込まれます。
- 複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
- 一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかる場合があります。
- [ファイル]をクリックし[読み込み]から[履歴]をクリックしても同じ画面になります。



●画面表示について



No	表示名	表示の意味
①	ファイル情報(ファイル名、本体時計、GPS時計、緯度、経度、速度・車速パルス)	映像の日付や緯度、経度を表示します。 ※車速パルスは、OP-SYUP7接続時のみ表示されます。
②	検索	速度や加速度の値を設定し、検索することができます。
③	加速度センサグラフ表示	選択したファイル全体の加速度センサグラフを表示します。
④	走行速度表示	GPSまたは車速信号線からの走行速度を表示します。 ※オプション OP-SYUP7を使用した場合は、車速信号線からの情報も検出できます。
⑤	ブレーキ、ウインカー表示	ウインカー(右左)とブレーキの状態を表示します。 ※オプション OP-SYUP7を使用した場合に表示します。
⑥	加速度表示	前後感度(X方向: 赤色)、左右感度(Y方向: 黄緑色)、上下感度(Z方向: 青色)を表示します。
⑦	緯度・経度表示	GPSで記録した緯度(N)・経度(E)を表示します。
⑧	再生ボタン	再生や早送りなどの操作を行います。
⑨	加速度センサグラフ表示	1分間の加速度センサグラフを表示します。
⑩	日付 時刻	映像を記録した日付と時間を表示します。
⑪	Google Maps表示	地図(Google Maps)を表示します。 ※インターネットに接続されていないと、Google Mapsは表示されません。

No	表示名	表示の意味
⑫	読み込み/閉じるボタン	選択したファイルを読み込み/閉じます
⑬	履歴/プレイリスト一覧	記録されている履歴ファイルの一覧や選択されている履歴ファイルを表示します。

4 再生する

▶ ボタンをクリックする

- 再生ボタンを押すと、地図に走行軌跡が表示されます。
- 映像を記録したポイントでは、映像を表示します。
- [閉じる]をクリックすると 2 の画面に戻ります。
- 終了する場合は、**X** をクリックします。

※走行軌跡はパソコン画面上の地図や地形とずれることがあります。

●再生ボタン

再生や早戻しなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。



- [再生]をクリックし、[再生]、[早送り]、[次コマ]、[逆再生]、[前コマ]、[早戻し]、[停止]をクリックすると、クリックした動作を行います。
- 再生中に早送り(早戻し)ボタンをクリックすることによりX2→X4→X8→X16と、早送り(早戻し)再生になります。

●加速度センサー表示

加速度センサーグラフは、記録したデータを加速度(縦軸)と時間(横軸)でグラフ表示します。

- 上段……読み込まれたファイル全体の加速度センサーグラフを表示します。
- 下段……1分間の加速度センサーグラフを表示します。

加速度センサー表示は**+**ボタンをクリックすると加速度センサースケールが拡大、

-ボタンをクリックすると加速度センサースケールが縮小します。

Bボタンをクリックすると標準のスケールになります。

- [表示]をクリックし、[加速度センサースケール]から[拡大]、[標準]、[縮小1]、[縮小2]を選択しクリックしても同じ画面表示になります。



●検索

履歴の中から設定した値を越える速度や衝撃(加速度)の映像を検索でき、ファイルとして表示します。

☒ 速度検索値 60 Km
 ☐ 加速度しきい値 X ± 0.40
 ☐ 加速度しきい値 Y ± 0.40
 ☐ 加速度しきい値 Z ± 0.40

No.	日付 時刻	トリガ
1	2009.02.08 18:29:48	
2	2009.02.08 18:31:29	
3	2009.02.08 18:32:06	
4	2009.02.08 18:32:17	
5	2009.02.08 18:33:03	
6	2009.02.08 18:34:12	
7	2009.02.08 18:34:27	
8	2009.02.08 18:35:10	
9	2009.02.08 18:40:22	
10	2009.02.08 18:40:42	衝撃
11	2009.02.08 18:40:55	

速度検索値	検索する走行速度を設定します。
加速度しきい値 X ±	検索したい前後方向の値を設定します。
加速度しきい値 Y ±	検索したい左右方向の値を設定します。
加速度しきい値 Z ±	検索したい上下方向の値を設定します。

- ☐ に ☒ を入れると、各値に合う条件で検索します。

●ファイル情報

読み込まれたファイル名、本体時計、GPS時計、緯度、経度、速度[進行方向]を表示します。

ファイル名	: 5.2009.09.30.06.30.00
本体時計	: 2009.09.30 06:30:25
GPS時計	: 2009.09.30 06:30:25
緯度	: 35° 14' 29.48" N
経度	: 136° 47' 31.57" E
速度	: 20 km/h [東] 0 km/h [0]

- 本体時計 … 本体に内蔵されている時計(日時)です。
履歴や映像ファイル名に本体時計の時間が用いられます。
GPS測位後に一度電源を切ることで自動的に本体時計の修正が行われます。
- GPS時計 … GPSの電波により取得した日時を表示します。

●車速、ウインカー、ブレーキ情報

※ オプションのOP-SYUP7接続時に、ウインカーやブレーキランプ、車速パルス信号が記録できます。



車速信号線(車速パルス)の情報で速度を表示すると、速度表示の右上に  が表示されます。

車速	GPSからの情報やオプションOP-SYUP7からの情報で車両の速度を表示します。 通常GPSからの情報で速度を表示し、トンネルなどGPSの電波を受信できない場合、車速信号線からの情報で速度を表示します。
ウインカー	ウインカーを出したことがウインカー表示部の点滅で確認できます。
ブレーキ	ブレーキを踏んだことがブレーキ表示部の点灯で確認できます。

Google Earth用のデータに変換する

蓄積された履歴ファイルをKMLファイルに変換できます。変換したKMLファイルを使って、GoogleEarth上で全走行ルートの表示やドライブ中にワンタッチ録画で記録した映像の静止画を表示、保存できます。

※ あらかじめGoogle EarthのホームページよりGoogle Earthをダウンロードし、パソコンにインストールしておいてください。

※ Google Earthのご使用方法等は、Google Earthのホームページをご確認ください。

1 [履歴]をクリックする

2 変換したい映像ファイル名をクリックする

- ・ 選択したファイルNo.に ☒ が入ります。
- ・ 複数のファイルを選択できます。
- ・ 「すべてを選択」をクリックすると、録画されているファイルすべてに ☒ が表示されます。
- ・ 「[ファイル]」をクリックし、[読み込み]から[履歴]を選択しクリックしても同じ画面表示になります。
- ・ 「[ファイル]」→「[読み込み]」[履歴]を選択しても同様の動作となります。
- ・ 選択した映像が読み込まれ、表示されます。
- ・ 複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

3 (ログデータ変換)をクリックする

- ・ 「[ツール]」→「[ログデータ変換]」を選択しても同様の動作となります。

4 保存する場所とお好みのファイル名を指定し、ポイント、ルートを設定し、スタートをクリックする

☐ ポイント(ログファイルデータの点による位置を表現します)

GPS 測位による 1 秒間隔の自車位置変化をポイントとして Google Earth に表示させ、通過時刻や進行方向を見ることができます。

- ・ **変換するポイントの密度：(1～30)**
Google Earthに表示させる自車位置の間隔を秒数(1～30)で設定します。数値を大きくすると間隔が、粗く(広く)なります。
数値を小さくすると自車位置の細かな変化を見ることができます。

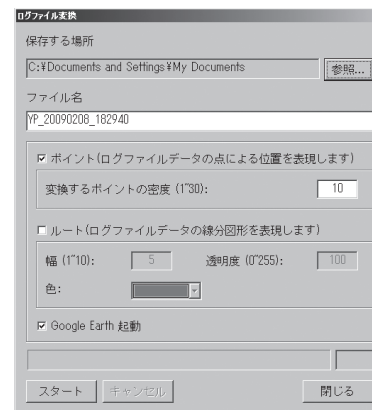
☐ ルート(ログファイルデータの線分図形を表現します)

走行軌跡を線で表示します。

- ・ **幅：(1～10)**
走行軌跡表示の幅を設定します。
- ・ **透明度：(0～255)**
走行軌跡表示の透明度を設定します。
0は完全な透明を意味し、数字が大きくなるほど線は濃くなっていきます。
- ・ **色**
走行軌跡表示の色を設定します。

☐ Google Earth起動

ログファイル保存完了後、Google Earthを自動で起動します。



5 ログファイル保存完了が表示されるので、[OK]をクリックする

Google Earth起動に ☒ を入れると、ログファイル保存完了後、Google Earthが起動し、画面上に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡はGoogle Earth上の道路や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがありますのでご了承ください。

6 [閉じる]をクリックする

ログデータ変換が終了します。

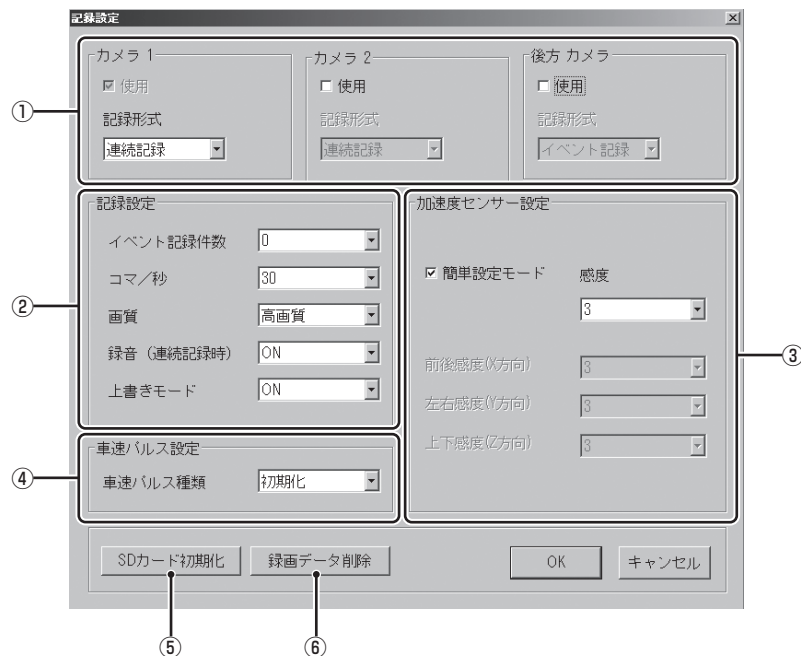
設定を変更する

記録設定

（記録設定）をクリックすると、各種の設定変更やSDカードの初期化を行うことができます。

- ・ [ツール] をクリックし [記録設定] をクリックしても同じ画面表示になります。

設定変更を行う場合は必ずSDカードをSDカードリーダーに接続してご使用ください。
設定内容はSDカードに保存されます。
SDカードを本体に戻し、本体の電源が入ると設定内容が読み込まれ本体に反映されます。



① カメラ設定

● カメラ 1

付属カメラの記録形式が選択できます。
[連続記録] または [イベント記録] から選択します。
工場出荷時は [連続記録] に設定されています。

- ・ **連続記録** …… エンジン停止直前までの映像と音声をSDカードに記録します。
工場出荷時の設定 (高画質、10コマ/秒) で、付属のSDカードに約2時間の連続記録が可能です。
- ・ **イベント記録** …… 衝撃を検知した場合や、リモコンのボタン操作時に映像と音声を記録します。

● カメラ 2

オプションの増設カメラ (OP-DRCM1) を使用する場合の設定です。
[使用] の□に✓を入れると、増設カメラで映像を記録できます。
記録形式は [連続記録] または [イベント記録] から選択します。

● 後方カメラ

オプションのリヤビューカメラ (YP-BC1) を使用する場合の設定です。
[使用] の□に✓を入れると、リヤビューカメラで映像を記録できます。
記録形式は [連続記録] または [イベント記録] から選択します。

※ 記録形式変更時の注意

- ・ すでにSDカードに記録した録画データがあり、現在の設定から別の記録形式へ変更する場合は、SDカードに記録されている録画データをいったん削除し、新たに変更した設定内容で記録を行います。
- ・ 設定を変更する場合は、SDカードに記録している録画データをパソコンなどにバックアップしてください。いったん削除した録画データは、元に戻せませんのでご注意ください。

② 記録設定

● イベント記録件数

「① カメラ設定」で複数のカメラを使用し、記録形式 (イベント記録/連続記録) がカメラにより異なる設定の場合に変更でき、イベント記録件数を [15]、[30]、[50] から選択します。

※ 使用するカメラをすべて連続記録に設定した場合、イベント記録件数は [0] になります。(工場出荷時)

※ 使用するカメラをすべてイベント記録に設定した場合、イベント記録件数は [ー] になり、カメラの数や画質やコマ数/秒の設定内容、対象物 (被写体) の色や形状等によって、記録できる件数は異なります。(➡ 39 ページ「連続記録時間とイベント記録件数表」)

●コマ/秒

1秒間に記録する映像のコマ数を選択します。

使用条件(オプションの追加カメラの使用)によって、選択できるコマ数が変わります。

- 付属カメラのみ使用の場合 [1]、[5]、[10]、[15]、[30]から選択します。
- オプションのカメラを1つ追加している場合 [1]、[5]、[10]、[15]から選択します。
- オプションのカメラを2つ追加している場合 [1]、[5]、[10]から選択します。

工場出荷時は[10]に設定されています。

●画質

記録する映像の画質を選択できます。

[低画質]または[高画質]から選択します。

工場出荷時は[高画質]に設定されています。

●録音(連続記録時)

連続記録の録音動作を選択できます。

[ON]または[OFF]から選択します。

工場出荷時は[ON]に設定されています。

※イベント記録、静止画記録の録音動作は、常時ONとなり、変更できません。

●上書きモード

SDカードの空き容量が不足したときの映像の保存方法を選択できます。

[ON]または[OFF]から選択します。

- 上書きモードが[ON]の場合 SDカードの容量がいっぱいになると古いデータから順に書き換わります。
- 上書きモードが[OFF]の場合 容量がいっぱいになると映像は保存されません。

工場出荷時は[ON]に設定されています。

連続記録時間とイベント記録件数表

●連続記録時間の目安

	高画質設定での連続録画時間			低画質設定での連続録画時間		
	カメラ1	カメラ1 + カメラ2 使用時	カメラ1 + カメラ2 + 後方カメラ 使用時	カメラ1	カメラ1 + カメラ2 使用時	カメラ1 + カメラ2 + 後方カメラ 使用時
1コマ /秒	約5時間 40分	約3時間	約2時間	約7時間 20分	約4時間	約2時間 40分
5コマ /秒	約3時間 10分	約1時間 30分	約1時間	約4時間	約2時間	約1時間 20分
10コマ /秒	約2時間 (工場出荷時)	約1時間	約40分	約2時間 30分	約1時間 10分	約50分
15コマ /秒	約1時間 20分	約40分	—	約1時間 40分	約50分	—
30コマ /秒	約40分	—	—	約1時間	—	—

●イベント記録件数の目安

	高画質設定での連続録画時間			低画質設定での連続録画時間		
	カメラ1	カメラ1 + カメラ2 使用時	カメラ1 + カメラ2 + 後方カメラ 使用時	カメラ1	カメラ1 + カメラ2 使用時	カメラ1 + カメラ2 + 後方カメラ 使用時
1コマ /秒	約800件 ※	約800件 ※	約550件	約800件 ※	約800件 ※	約750件
5コマ /秒	約380件	約190件	約130件	約490件	約250件	約160件
10コマ /秒	約190件	約90件	約70件	約250件	約120件	約80件
15コマ /秒	約130件	約60件	—	約160件	約80件	—
30コマ /秒	約70件	—	—	約90件	—	—

※ 付属のSDカードへの記録可能な件数は、約800件が上限となります。

- 上記値は目安です。絶対保証値ではありません。
- 被写体や周囲環境などの要因により、記録可能時間と件数は変動します。

③ 加速度センサー設定

● 簡単設定モード

衝撃感度を選択できます。

[1]～[5]までの5段階から設定できます。工場出荷時は[3]に設定されています。

- 感度の数値を小さく設定する([3]→[2]、[1])……衝撃を検知する感度が高くなります。
- 感度を数値を大きく設定する([3]→[4]、[5])……衝撃を検知する感度が鈍くなります。

感度数値	動作・使用条件
1	急ハンドルや急ブレーキ等、危険運転も記録したい場合
2	
3	標準設定(基本的に事故のみを記録)
4	
5	悪路で反応する場合や、サスペンションがかたい車の場合

簡単設定モードの✓をはずすと前後(X方向)、左右(Y方向)、上下(Z方向)の各方向の感度を[1]～[5]までの5段階から個別に設定できます。

- 加速や減速、路面の凹凸などに反応(本体から「ピー」と鳴り録画ランプが点滅)しすぎる場合は、感度の数値を大きくしてください。
- 感度の数値を小さくした場合、急加速や急ブレーキ、急カーブなどに反応しやすくなります。
- 動作確認のための公道での危険な運転は、行わないでください。

各設定を終えたら[OK]をクリックします。

「現在の設定を保存しますか」と表示されますので、[OK]をクリックしてください。

④ 車速パルス設定

※オプションのOP-SYUP7を使用している場合に設定します。

● 車速パルス種類

車両の車速信号線に接続をしている場合に設定を選択できます。

車両のパルス信号を選択します。

[初期化]、[2パルス]、[4パルス]、[8パルス]、[16パルス]、[20パルス]、[25パルス]から選択します。

- 初期化 ……………一定速度(30km/h)以上で走行すると自動的にパルスを判断し、停車時に自動設定されます。通常はこちらでご利用ください。
- 2、4、8、16、20、25パルス ……選択したパルス固定となります。
印刷画面(● 28ページ)を表示させ、速度(GPS値)と速度(車速パルス)の速度が、近い値となるようにパルス数を選択してください。

工場出荷時は[初期化]に設定されています。

※ SDカードの各種設定変更時には車速パルス設定の変更をしないでください。

⑤ SDカード初期化

一度SDカード内のファイルをすべて消去し、必要なファイルを書き戻します。工場出荷時の状態に戻す場合や、SDカードからの読み込みが遅くなった場合に初期化を行ってください。

※ 必ず2GBに対応したSDカードリーダーライターをご使用ください。2GBに対応していない場合、SDカードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

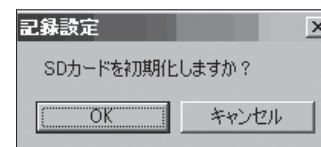
- [ツール]をクリックし、[SDカード初期化]をクリックしても同じ画面表示になります。

1 [SDカード初期化]をクリックし、SDカードのフォルダ(DRIVEREC3)を選択する



2 [OK]をクリックする

「SDカードを初期化しますか？」と表示されます。



3 [OK]をクリックする

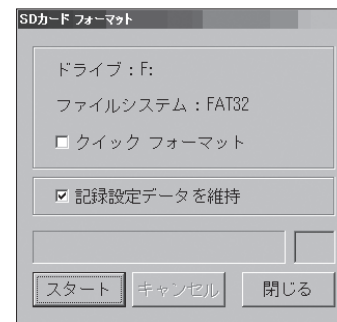
フォーマット画面が表示されます。

☒ クイックフォーマット
短時間でフォーマットを行います。

☒ 記録設定データを維持
SDカードの初期化を行っても、記録設定のデータを保持します。

☒ をはずすと工場出荷時の設定内容に戻ります。

※ 録画されたデータは維持されません。



4 [スタート]をクリックする

フォーマットが始まります。
[キャンセル]をクリックすると、フォーマットを中止します。

5 フォーマットが終了すると、[フォーマット完了]が表示される

[OK]をクリックすると記録設定画面に戻ります。

6 終了するときは[閉じる]をクリックする

⑥ 録画データ削除

録画データ削除をクリックすると[録画データ削除]と[記録設定データ初期化]が選択画面に表示されます。

● 録画データ削除

録画されたデータのみ削除します。

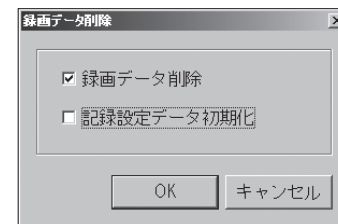
いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。

録画した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。(➡ 25 ページ)

1 [録画データ削除]をクリックする

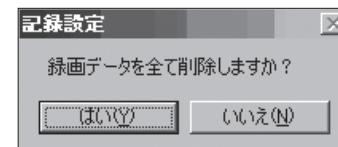
2 録画データ削除に ☒ を入れ、[OK]をクリックする

「録画データをすべて削除しますか?」と表示されます。



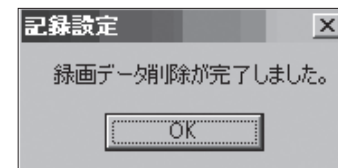
3 [はい]をクリックする

録画データの削除が完了します。



4 [OK]をクリックする

記録設定画面に戻ります。

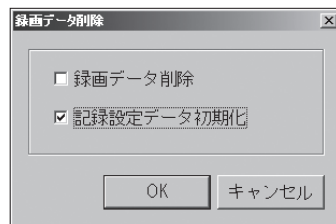


● 記録設定データ初期化

記録設定項目を工場出荷時の状態にリセットします。

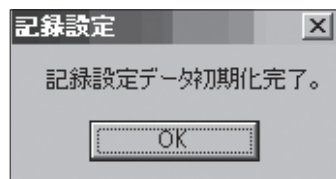
1 記録設定データ初期化に ☒ を入れ、 [OK]をクリックする

記録設定データの初期化が完了します。



2 [OK]をクリックする

記録設定画面に戻ります。



インフォメーション

バージョン情報

ソフトウェアのバージョンなどを表示します。

アップデート

クリックするとユピテルホームページを開くことができます。

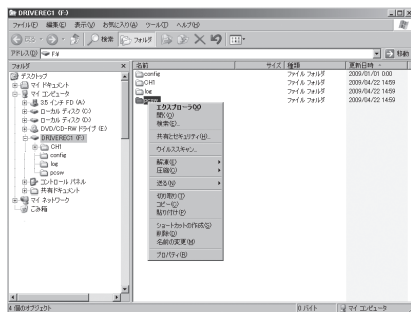
- 画面右上の **YUPITERU** をクリックしてもユピテルホームページを開くことができます。

ビューアソフトのバックアップ(コピー)について

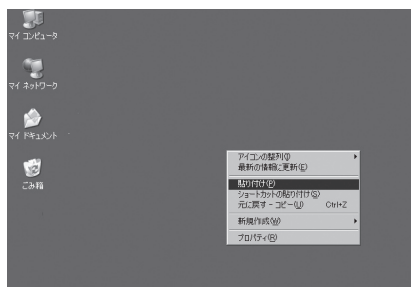
ビューアソフトは付属のSDカード内に収納されています。誤って削除した場合に備えパソコンなどにバックアップ(コピー)することをおすすめします。

例 >>> デスクトップにバックアップ(コピー)する場合

- 1 エクスプローラなどを起動させ、「DRIVEREC3」と表示されているドライブを展開し、[pcsw]上で右クリックし、「コピー」を選択する



- 2 デスクトップ上で右クリックし、「貼り付け」を選択する



- 3 保存の完了

デスクトップに[pcsw]のフォルダがコピーされます。

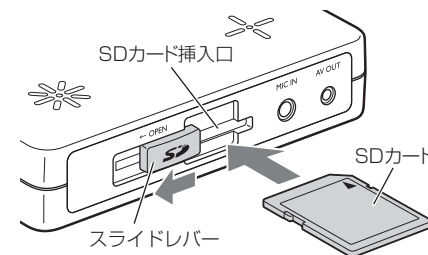
SDカードフォーマットについて

SDカードのデータを消したい場合に、フォーマットを行います。また、初期化を行っても読み込みや書き込みが正しく行われない場合、フォーマットをお試しください。本体でフォーマットを行うと、ビューアソフトは消去され復元しません。フォーマットを行う前に、バックアップ(コピー)を行ってください。

- 1 SDカードが本体に挿入されていることを確認する

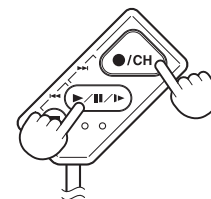
付属のSDカードが挿入されていないときは、電源が切れていることを確認して、付属のSDカードを挿入してください。

※ SDカード挿入後はスライドレバーをロックするまでスライドさせてください。



- 2 リモコンの録画ボタン (●/CH) と再生ボタン (▶/II/▶) を同時に押しながら、エンジンを始動する(初期化準備中)

しばらくすると、ブザー音(ピーピーピー…)が約30秒間鳴ります。上書きランプが点滅します。



- 3 ブザー音(ピーピーピー…)が鳴っている間に、再度リモコンの録画ボタン (●/CH) と再生ボタン (▶/II/▶) を同時に2秒以上押す(初期化の開始)

録画ランプと上書きランプが点滅します。点滅が消灯に変化すると初期化終了です。

映像を見る (オプションAV出力ケーブルOP-23を使用)

記録した映像をカーナビやカーテレビのモニターで見る

オプションのAV出力ケーブル(OP-23)を使いRCA外部入力接続可能なカーナビやカーテレビで記録した映像を見ることができます。

※RCA外部入力端子を備えたカーナビやカーテレビ、モニターが必要です。

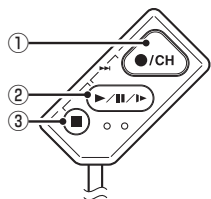
※映像再生中に、録画することはできません。



- ① オプションのAV出力ケーブル(OP-23)をモニターのRCA外部入力端子に接続する
- ② エンジンを始動(ACCをON)にする
- ③ カーナビやカーテレビを外部入力画面(ビデオ入力など)にする
- ④ リモコンの②ボタンを長押し(2秒以上)する

モニターに記録した映像が表示されます。下記、リモコン操作で映像を再生できます。

リモコンの操作



①ボタン	CH(チャンネル)切り替え カメラの切り替えができます。 オプションのカメラを増設している場合、CHボタンを押すごとにCH1：付属カメラ、CH2：増設カメラ、CH3：リアビューカメラと切り替わります。
②ボタン	再生/停止 記録した映像の再生や停止ができます。
②ボタンを長押し	スロー スローで再生します。 ※ 音声は出力されません。
①②ボタン同時押し	送る 複数の映像ファイルがある場合、次のファイルの頭出しをします。
②③ボタン同時押し	戻す 再生中に操作を行うとファイルの頭出しになり、停止中に操作を行うと一つ前のファイルを選択します。

- ⑤ リモコンの③ボタンを長押し(2秒以上)する
再生が終了します。録画記録できる状態に戻ります。

設定内容を見る (オプションAV出力ケーブルOP-23を使用)

設定内容をカーナビやテレビ、モニターで見る

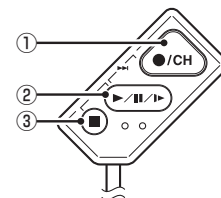
現在の設定内容をカーナビやカーテレビのモニターで確認できます。



- ① オプションのAV出力ケーブル(OP-23)をモニターのRCA外部入力端子に接続する
- ② エンジンを始動(ACCをON)にする
- ③ カーナビやカーテレビを外部入力画面(ビデオ入力)にする
- ④ リモコンの②ボタンを押す

モニターに本機の設定内容が表示されます。

- ・リモコンの①ボタンを押すとカメラ1、カメラ2の設定内容の切り替えができます。
※ REAR(リアビューカメラ)の設定内容には切り替わりません。
- ・リモコンの③ボタンを押すと設定内容の表示が消え、背景(カメラの映像)のみ映し出されます。再度、設定内容を表示する場合は、②ボタンを押します。
- ・設定内容を表示中も、衝撃検知やリモコン操作による記録、設定による連続記録は行われます。



- ⑤ リモコンの②ボタンを押す
設定内容の表示画面が終了し、録画記録できる状態に戻ります。

- ・モニター上に表示されている設定内容をリモコン操作で変更することはできません。設定内容の変更は、本体からSDカードを取り出し、ビューアソフトをインストールしているパソコンから行ってください。(● 12ページ)
- ・30秒間何も操作がない場合、設定内容の表示画面が終了し、録画記録できる状態に戻ります。

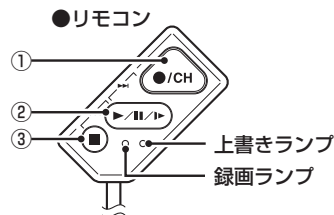
加速度センサーの設定（初期化）

本機(本体)の設置場所を変更したり、別の車両に乗せ替えを行った場合、加速度(衝撃)センサーの設定(初期化)を行ってください。

(新たな設置場所でセンサーの設定を行うことで、正確な衝撃の検知が行えます)

<注意>

- 設定操作は、車両を走行させるため、あらかじめ広い場所で行ってください。
- 設定操作が30秒以上ない場合、設定内容を無効として通常モードに戻ります。
- オプションのAV出力ケーブル(OP-23)を使用し、カーナビなどと接続している場合、モニターに操作手順を表示させることができます。



モニターを使用しない場合

リモコンのランプ、本体のブザー音で動作確認を行います。



モニターを使用する場合

モニターの表示内容(下記 部分)に従い操作を行います。



1 リモコンの [●/CH] と [■] のボタンを同時に押しながらエンジンを始動し、約30秒待つ

操作後、約30秒後に上書きランプの点滅とブザー音(ピーピーピーピー…)が鳴ります。

- ブザー音は「0.5秒 吹鳴」、「0.5秒 休止」を繰り返します。

✕モ ブザーが鳴るまでの約30秒間は、下記ランプの変化があります。

- 上書きランプ、録画ランプが点灯(約10秒)
- ↓
- 上書きランプ、録画ランプが点滅(約15秒)
- ↓
- 上書きランプ、録画ランプが点灯(約3秒)
- ↓
- 上書きランプのみ点滅
ブザー音(ピーピーピーピー…)が鳴る

操作後、約30秒後にブザー音(ピーピーピーピー…)が鳴り、モニターに表示が出ます。

加速度センサーの初期化を行います。
録画ボタンとシャッターボタンを同時に2秒以上押してください。
初期化しない場合は上記以外のボタン操作をしてください。

2 ブザー音が鳴っている間に、再度、リモコンの [●/CH] と [■] のボタンを同時に2秒以上押す

操作後、上書きランプの点滅とブザー音(ピーピーピーピー…)が鳴ります。

- ブザー音は「0.3秒 吹鳴」、「0.3秒 休止」を繰り返します。

加速度センサーの初期化を実行中です。
車両が水平となる位置で停止し、録画ボタンを押してください。
前方数mの空き地が必要です。

3 ブザー音が鳴っている間に、リモコンの [●/CH] ボタンを押す

走行準備

操作後、上書きランプの早い点滅とブザー音(ビビビビ…)が鳴ります。

- ブザー音は「0.1秒 吹鳴」、「0.1秒 休止」を繰り返します。

加速度センサーの初期化を実行中です。
前方へ5m程度直進してから、停止してください。

4 車両を前方へゆっくりと5m程度動かす (周囲の安全を確認してから動かしてください)

走行→停止

検知後、上書きランプの点滅とブザー音(ピーピーピーピー…)が鳴ります。

- ブザー音は「0.5秒 吹鳴」、「0.5秒 休止」を繰り返します。

●設定が正常に行えた場合の表示

加速度センサーの初期化が終了しました。
なにかボタンを押す、
30秒経過、
で再起動します。

●設定ができなかった場合の表示

加速度センサーの初期化ができませんでした。
もう一度、車両が水平となる位置で停止し、録画ボタンを押してください。
前方数mの空き地が必要です。

5 リモコンの [●/CH] ボタンを押し、ブザー音が停止するのを確認する

ブザー音が停止すると
加速度センサーの設定は終了です。

ブザー音が停止すると
加速度センサーの設定は終了です。
(モニター画面が無表示になります)

その後、録画ランプと上書きランプが点灯し、点滅に変わります。
30秒後にドライブレコーダーが再起動します。
正常に起動すると、上書きランプが消灯し、録画ランプだけが点灯します。

ブザー音「ビビビビ…」が鳴り続ける場合

設定ができていません。再度、4の操作からやり直してください。

- ◆モニターを使用している場合は、右記表示内容に従って操作してください。

加速度センサーの初期化を実行中です。
前方へ5m程度直進してから、停止してください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。

それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症 状	チェック項目
電源が入らない	・電源配線のヒューズが切れていないか確認してください。 切れている場合は、同じ容量(3A)の新しいヒューズと交換してください。
映像が記録できない	・付属のSDカードが正しく挿入されていますか。 ・記録設定の上書きモードがOFFになっていませんか。 (● 36ページ)
パソコンで記録した映像が見られない	・ビューアソフトがインストールされていますか。 ・2GBに対応したSDカードリーダーライターを使用していますか
本体から『ピーピーピー…』と鳴る	・付属SDカードが挿入されていますか。

付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

●リモコン	1
●カメラ	1
●電源コネクタ	1
●GPSアンテナ	1
●SDカード(2GB)	1
●ビューアソフト(付属のSDカード内に収納)	
●本体用マジックテープ	2
●コードクリップセット	7
●リモコン用両面テープ	1
●カメラ用両面テープ	1
●GPSアンテナ用両面テープ	1
●取扱説明書・保証書	1

※紛失等による付属品の追加購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

電源電圧	DC 12V/24V(マイナスアース車専用)
消費電力	5W
カメラ素子	カラーCMOS
視野角	左右131°、上下96°
画素数	30万画素
最低被写体照度	1LUX
画像画質	高画質 低画質
記録媒体	SDカード(2GB付属)
記録形式	MPEGまたはJPEG
フレームレート	最大30コマ/秒
記録時間・件数	- 連続記録 約2時間 (カメラ1台、付属SDカード使用、高画質、10コマ/秒のとき) - イベント記録 1件当たり最大20秒(前15秒、後5秒) 記録件数約70件 (カメラ1台、付属SDカード使用、高画質、30コマ/秒のとき)
動作温度範囲	-10℃～+60℃
外形寸法	- 本体 : 100(W)×71(H)×21(D)mm(突起部除く) - カメラ : 31(W)×34(H)×26(D)mm(突起部除く) - GPSアンテナ : 55(W)×45(H)×18(D)mm(突起部除く) - リモコン : 20(W)×40(H)×10(D)mm(突起部除く)
重量	- 本体 : 93g - カメラ : 119g(ブラケット含む) - GPSアンテナ : 57g(突起部除く) - リモコン : 36g(接続ケーブル含む)

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

※点検や修理の際、設定や録画したデータが消失される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

○保証期間中のとき

保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

ユビテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

故障相談や修理のご依頼、付属品や別売品の購入方法、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9:00～17:30 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL.(011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北8条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL.(022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL.(03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL.(0564)66-8411 〒444-2144 愛知県岡崎市岩津町檀ノ上3
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知・鳥取・島根・岡山・広島・山口	大阪営業所・サービス部 TEL.(06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL.(092)552-5351 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野2-3-4-2F

使いかたに関するお問い合わせ

受付時間 10:00～17:30 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)
お客様ご相談センター TEL.(0564)45-5599